

## モノシラン製造工場建設について

2009年5月14日

- **モノシランおよび AEROSIL® (アエロジル)の複合製造施設を三重県四日市市石原町に建設**
- **総投資額は約 200 億円**
- **2009 年建設開始、2011 年より操業開始予定**
- **エボニック インダストリーズ AG 取締役会会長クラウス・エンゲル:**  
「この投資により太陽光発電市場における弊社のリーダーシップが強化され、戦略的展望が拡大します。」

内藤 吾朗  
コミュニケーションズ  
Phone 03-5323-7391  
Fax 03-5323-7399  
goro.naito@evonik.com

ドイツの産業グループであるエボニック インダストリーズの日本法人、エボニック デグサ ジャパン株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ウルリッヒ・ジラー)は、このたびモノシランの製造工場を三重県四日市市に建設します。

エボニック インダストリーズは、現在の厳しい経済状況にも関わらず、太陽エネルギーとエレクトロニクスといった、未来の市場に向けて投資をおこないます。日本のパートナーである大陽日酸株式会社の協力のもと、エボニック グループは約 200 億円の投資を含むプロジェクトに着手します。このプロジェクトの中核は、三重県四日市市におけるモノシランと AEROSIL® (アエロジル)の新しい複合製造施設の建設です。この度、四日市市と新しい施設に関する立地協定書が交わされ、エボニックのソーラーシリコン事業を有望なアジア市場に進出させるための第一歩が刻まれました。新しい製造施設の建設は 2009 年後半に開始され、2011 年に操業が開始される見込みです。これにともないエボニックは世界有数の産業ガス大手、大陽日酸株式会社にモノシランを供給する長期契約を締結しました。大陽日酸株式会社は長年、エレクトロニクス産業の大手顧客に製品を提供しています。

エボニック インダストリーズ取締役会会長であるクラウス・エンゲルは「新しい施設の建設により、エボニックの市場が強化されるとともに、未来志向のソーラーエネルギー市場における当社の技術的リーダーシップが強化されます。エボニックは太陽光発電市場の技術革新を推進しています。当社は最大かつ最も多様なシリコン化学ネットワークを有しているため、成長著しい太陽光発電部門だけでなく、エレクトロニクス産業においても魅力的な機会を活用することが可能です」と述べています。

エボニック デグサ ジャパン  
株式会社  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F  
www.evonik.jp

今回の投資により、エボニックの化学事業の主要分野に対する戦略的展望が拡大されます。エボニックが開発した技術により、薄膜シリコン太陽電池、フラットスクリーン、半導体向けのエレクトロニクスグレードのモノシランの製造が可能になります。エボニックはすでにドイツのラインフェルデンにある合併事業により、高効率ウエハーベース太陽電池向けの多結晶ソーラーシリコンの生産を行っていま

す。エンゲルは「日本に建設される新しい複合施設により、エボニックグループはすべての主要なシリコンベースの太陽光発電技術に頭角を現すことができるでしょう」とコメントしています。

2009年5月14日

シランは、太陽エネルギーを利用する太陽電池の重要な成分です。エボニックはすでにクロロシランの世界的な市場リーダーであり、モノシランの代表的な製造企業に名を連ねています。現在、ソーラーエネルギーが急成長を続けている中、モノシランの世界市場は2020年まで年間平均20%の伸びを記録すると予想されています。

内藤 吾朗  
コミュニケーションズ  
Phone 03-5323-7391  
Fax 03-5323-7399  
goro.naito@evonik.com

四日市市のモノシラン製造工程で副生成物として得られる四塩化ケイ素はAEROSIL®(アエロジル)に加工され、プラスチック、顔料、ラッカー、接着剤、シーラント等に対する用途として、別に市販されます。エボニックではこの製品の世界市場も中期的成長を持続すると予想しています。エンゲルは「このような不況の時代でも、日本におけるエボニックのプロジェクトは、当社のサクセスストーリーの新たな1ページとなるでしょう」と自信を表明しています。

エボニックは約40年間にわたり四日市市でAEROSIL®を製造してきました。エンゲルは四日市市および三重県に対し、今回の投資プロジェクトの準備段階における多大な協力と支援に感謝の意を表明しています。「三重県におかれましては、ドイツのノルトライン・ヴェストファーレン州との密接な協力のもとで、日本の企業と同州の企業の連携を確立し、強化するためにご尽力いただきました。四日市市に新施設を建設するプロジェクトは、過去数十年間にわたる同市からの協力と協調関係に基づいたエボニックの業績と成功、および三重県の努力と熱意に基づいて決定されました」とエンゲルは話しています。

#### **エボニック インダストリーズについて**

エボニック インダストリーズ AGは「化学」「エネルギー」「不動産」の3つの収益性の高い有望な事業を展開するクリエイティブなグループです。エボニックはスペシャリティケミカルのグローバルリーダー、石炭や再生可能エネルギーによる発電のエキスパート、そしてドイツでは最も大きな個人向け不動産会社のひとつです。私たちの強みは創造性・専門性・継続した自己革新力・信頼性です。エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で41,000人の社員を有し、2008年度の総売上高は159億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は22億ユーロを計上しました。

#### **免責事項**

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AGはこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

**エボニック デグサ ジャパン  
株式会社**  
〒163-0938  
東京都新宿区西新宿 2-3-1  
新宿モリス 12F  
www.evonik.jp